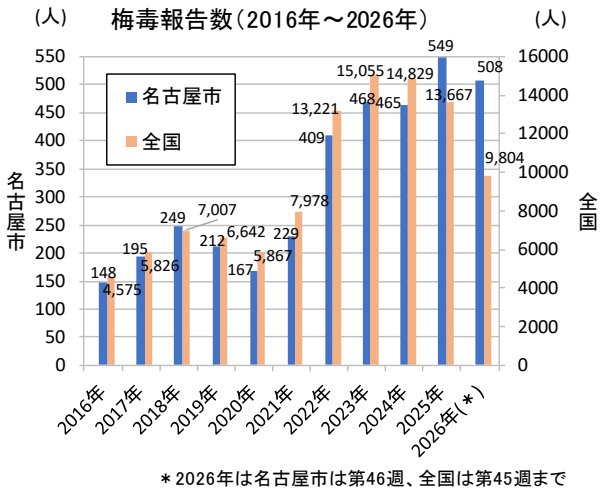
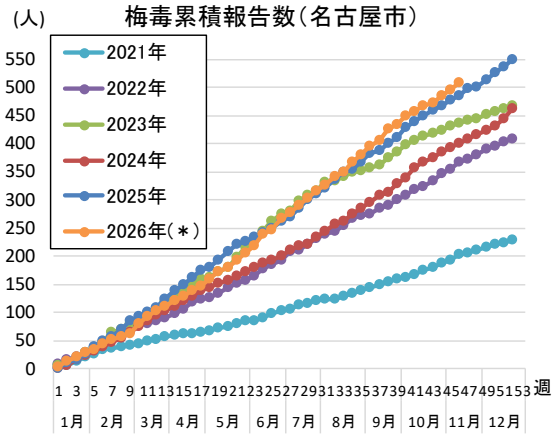
〔名古屋市の梅毒報告数〕

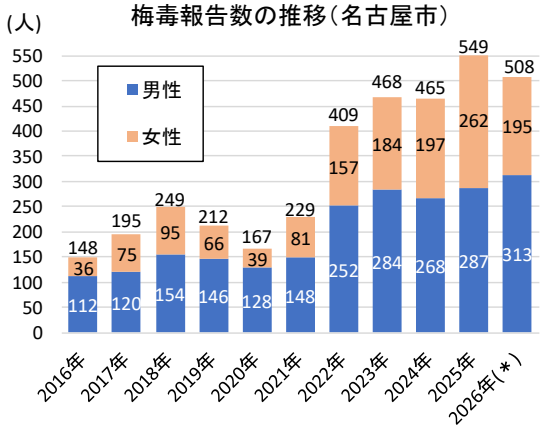
- 本市における梅毒の 2026 年第 1 週から第 46 週までの累積報告数は 508 人です。近年、梅毒の報告数が全国的に増加しており、本市における 2025 年の報告数は過去最多の 548 人でした。（「梅毒累積報告数（名古屋市）」を参照）
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



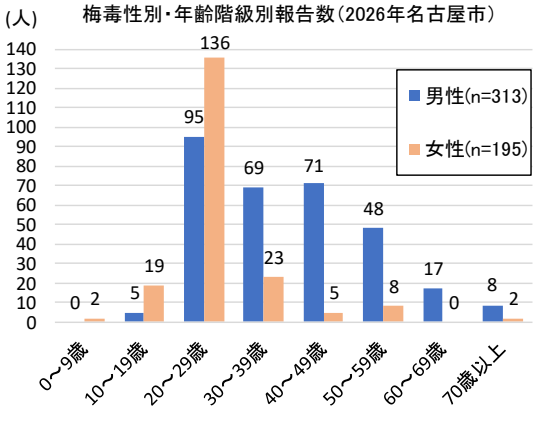
＊2026年は名古屋市は第46週、全国は第45週まで



＊2026年は第46週まで



＊2026年は第46週まで



注）第46週まで